

ユナイテッド・ナショナルズ
ホーランド
安全な中絶を支持して
罪に問われる

© Karolina Jackowska



WRITE
FOR
RIGHTS
AMNESTY
INTERNATIONAL



WRITE A LETTER
CHANGE A LIFE

支援も信頼できる情報へのアクセスもなかった、ユスティナ・ヴィドジンスカさん自身の中絶の経験から、彼女は他の人びとに性と生殖に関する情報に基づいた決定への手助をする、強さと動機付けを得た。ユスティナさんは、ポーランドで中絶の汚名に反対する活動を行い、安全な中絶へのアクセスの情報を提供する活動家集団、中絶ドリーム・チームを共同設立した。ポーランドは法的に中絶がヨーロッパで最も制限されている。

2020年2月、ユスティナさんはアニア(仮名)さんに連絡した。アニアさんは虐待され、妊娠し、自暴自棄になり、妊娠を続けるよりも死んだほうがましだと話した。ユスティナさんは自身も暴力からの生存者であり、助けなければならぬと考えた。彼女はアニアさんに自分が使っていた中絶薬を郵便で送った。しかしアニアさんのパートナーが郵送物を横取りして警察に連絡し、中絶薬は押収された。

2022年11月、検察官はユスティナさんを「中絶ほう助」罪で告発した。2023年3月、彼女は有罪となり、8カ月の社会奉仕活動を宣告された。彼女の弁護士は控訴した。

ユスティナの有罪判決は危険な前例となる恐れがある。彼女や他の活動家による支援や信頼できる情報がないと、アニアさんのような人びとは孤立し、安全な中絶へのアクセスはなくなる。

検事総長に手紙を書いてください

ユスティナさんの不当な判決を覆すよう、また彼女の合法的な人権擁護活動に対する告発をやめるよう、すべての必要な措置を取ることを要請してください。

X/Twitter: @PK_GOV_PL
Email: biuro.podawcze.pk@prokuratura.gov.pl

Prosecutor General
National Prosecutor's Office
ul. Postępu 3
02-676 Warszawa
Poland

検事総長宛

Airmail

Dear Prosecutor General,

I call on you to take all necessary measures to ensure that Justyna Wydrzyńska's unjust conviction is overturned and to refrain from bringing any other charges against her for carrying out her legitimate defence of human rights.

Justyna and other activists provide essential support and trustworthy information to women seeking the healthcare they are entitled to. She was convicted for helping a woman in an abusive relationship access a safe abortion. Her conviction sets a dangerous precedent.

Yours sincerely,

敵意を向けられたにも関わらず勇気を示し、ユスティナさんはこう言う。「他のだれもが助けたくなかったり、できなかったりした時に、私は助けたいという意志で動きました。私がアニアさんを助けることは自明で、適切で、誠実な行為でした。」

ユスティナさんの不当な有罪判決が覆るよう、検事総長に必要なあらゆる措置を取るよう要請してください。



© Amnesty International

ユスティナさんに気持ちを強く持つよう励ましてください

あなたの連帯と希望のメッセージを送ってください。

Email: dla.justyny@amnesty.org.pl

(例文)

I stand with you, Justyna. Thank you for your work.

#IAmJustyna #JakJustyna

#legalnaaborcjabezkompromisow #W4R23

アムネスティ →
ポーランド支部宛

Justyna Wydrzyńska
C/O Amnesty International Polska
Sapieżyńska 10A
00-215 Warszawa
Poland

Airmail